

令和2年12月11日

## 指定管理者の指定について

(練馬区立大泉福祉作業所および練馬区立大泉つつじ荘)

### 1 内容

地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立大泉福祉作業所および練馬区立大泉つつじ荘の指定管理者をつぎのとおり指定する。

### 2 指定管理者

神奈川県横浜市保土ヶ谷区上菅田町金草沢1749番地

社会福祉法人 同愛会

理事長 高山 和彦

### 3 指定の期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで(1年間)

「練馬区公共施設等総合管理計画〔実施計画〕(令和2年度～令和5年度)」において、区立福祉作業所および区立障害者グループホームについては、サービスを安定的に提供するため、現在の指定管理者を運営主体として民営化することとし、民営化に向けた準備期間中は、引き続き指定管理者制度を適用し、現在の指定管理者が施設運営を担うこととしている。

本施設では、令和2年度および令和3年度に、利用者の高齢化や障害の重度化に対応するための改修工事や生活介護事業を開始するための準備を行い、令和4年度から民営化する予定である。

このため、準備期間である令和3年度の1年間の指定の期間とする。

### 4 選定の経過

令和2年4月8日

第1回指定管理者選定小委員会

(業務の範囲、利用料金制の採否、選定の対象とする団体、

団体を特定する理由、評価項目・評価基準、指定の期間の審

- 議)
- (モニタリングチェックシートに基づく最終総合評価)
- 5月19日 令和2年度第1回指定管理者選定委員会  
(業務の範囲、利用料金制の採否、選定の対象とする団体、団体を特定する理由、評価項目・評価基準、指定の期間の審議結果の報告)  
(モニタリングチェックシートに基づく最終総合評価)  
(現在の指定管理者を次期の指定管理者の選定対象団体として特定)
- 6月22日 第2回指定管理者選定小委員会  
(企画提案書作成要項の審議)
- 6月24日 企画提案書作成要項配付・説明(団体を特定して実施)
- 7月16日 申請書類受付(経営状況に関する部分)
- 7月30日 申請書類受付(事業計画に関する部分)
- 8月13日 経営診断委託
- 8月31日 第3回指定管理者選定小委員会  
(施設実地調査の実施)  
(プレゼンテーションおよびヒアリングの実施)  
(申請団体の評価、採点)
- 11月9日 令和2年度第2回指定管理者選定委員会  
(申請団体の審査、指定管理者候補の決定)
- 12月11日 令和2年第四回練馬区議会定例会  
(指定管理者指定議案議決)

## 5 選定の理由

選定に当たっては、申請団体の企画提案書、プレゼンテーションの内容、施設実地調査、経営診断結果その他提出書類等をもとに評価した結果、利用者の高齢化や障害の重度化に対応した支援を充実する提案があること、細やかで安定した施設運営が今後も期待できること等の理由により、社会福祉法人同愛会が練馬区立大泉福祉作業所および練馬区立大泉つつじ荘を運営するにふさわしいと判断した。評価項目ごとの評価内容(主

な提案の内容、評価した点等)はつぎのとおりである。(審査結果は、別表のとおり)

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者委員を加えて評価を行った。

#### 【団体審査】

##### 安定性・継続性

収入に占める補助金・委託料収入の割合が低いため、自主運営能力が高い。また、資金力、借入金の返済能力、経営の安全性が優れており、長期的に安定した事業活動が可能である。

##### 当該施設の運営実績

練馬区立大泉福祉作業所では、利用者が地域の一員として生活を送ることを重視し、ポスティングや缶回収等の施設外での活動、自主生産品である煎餅の製造・販売を積極的に行っている。

練馬区立大泉つつじ荘では、地域社会の中で自立した生活が送れるよう買い物などの日常生活に必要なスキルを養うプログラムを積極的に行っている。

個人情報保護、情報セキュリティおよび情報公開に関する規程を整備し、適正に運用している。また、職員への定期的な研修やセルフチェックシートの取組を通し、個人情報保護の徹底を図っている。

労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。また、理事会・役員会の構成は適正であり、理事会・役員会は定期的開催されている。

施設での取組を地域に向けて実践報告会や広報誌などで発信し、職員の意識向上と障害者福祉の啓発を図っている。また、職員への虐待防止研修の実施やチェックリストの活用などにより、虐待の防止・早期発見に努め、利用者の人権に配慮した支援の提供に努めている。

苦情解決規程を整備し、適正に運用しているほか、利用者の権利擁護のため、苦情の受付から改善策の周知までをマニュアル化し、迅速な事業改善を図っている。

#### 【提案審査】

##### 施設運営体制

重度化、高齢化する利用者が地域で自立した生活を継続できるよう、地域の障害福祉サービスや関係機関と連携し、包括的に利用者を支援していく提案があり、評価できる。

個別支援計画のモニタリングを複数名で実施するとともに、実施結果を職員間で共有することで、利用者ニーズに則した適切な支援方針を定める提案があり、評価できる。

都外入所施設利用者の地域移行を促進するため、同一法人の入所施設で一時的に受け入れ、本人の状況を把握した後、練馬区立大泉つつじ荘で支援するなど法人が施設運営をバックアップする提案があり、評価できる。

毎年度職員別の研修計画を作成し、上司との定期的な面談を通して、自己評価や目標設定をする機会を設けるなど、人材育成に力を入れていく提案があり、評価できる。

新型コロナウイルス感染症対策として、職員の検温や設備の消毒等に加え、利用者の作業時間の調整やレイアウト変更等により接触機会を低減し、感染拡大防止に努めており、評価できる。

#### 運営経験を生かした取組

練馬区立大泉福祉作業所では、近隣の高齢者福祉施設と連携した秋祭りにおいて、地域のダンスチームや近隣保育園などを招待し、ステージや子ども向けワークショップを実施するなど、地域交流や障害者福祉の啓発を進める提案があり、評価できる。

練馬区立大泉つつじ荘では、グループホームの対象者を新たに重度障害者に広げ、相談支援事業所などの関係機関と連携し、地域で暮らしていくための支援を充実させる提案があり、評価できる。

民営化に合わせた生活介護の実施に向け、新たな自主生産品の開発や新規の受注先の開拓に加え、利用者ニーズに沿った余暇プログラムの導入を検討する新たな提案があり、評価できる。

#### 施設の維持管理・安全性への配慮

設備チェックリストの作成や職員の担当制により日常点検体制を確立し、適切に設備や備品を管理することで、利用者が安心して通所できる環境を整える提案があり、評価できる。

休日・夜間等の緊急招集についてルール化し、迅速に緊急時の対応ができる体制を整える提案があり、評価できる。

#### 効率的な管理運営

職員が練馬区立大泉福祉作業所および練馬区立大泉つつじ荘両施設の支援に携わることで、多様な利用者ニーズへの理解を深め、専門性やスキルの向上を図る提案があ

り、評価できる。

利用者支援における職員業務の「見える化プロジェクト」により、業務手順の標準化を図る等、超過勤務時間を削減し、業務のマネジメント向上を目指す提案があり、評価できる。

#### 施設特性に応じた提案

練馬区立大泉福祉作業所では、作業スペースの仕切りの設置やスケジュールの可視化など、利用者特性に応じた工夫により、利用者が主体的に活動しやすくなる環境づくりを行う提案があり、評価できる。

利用者個々のニーズに合わせた作業活動の充実や、ライフステージに合わせたプログラムの構築等、利用者の高齢化や障害の重度化に対応した活動に取り組む提案があり、評価できる。

練馬区立大泉つつじ荘では、緊急性の高い利用者を短期入所・日中一時支援事業において積極的に受け入れ、相談支援事業所等と連携し利用者が地域で暮らし続けることができるよう支援していく提案があり、評価できる。

#### 地域への貢献

職員の採用に当たり区民雇用に努めるとともに、業務の再委託や物品の調達等についてもできる限り区内事業者を活用する提案があり、区の求める基準を満たしている。

地域商店街と協働したイベントを開催し、利用者に参加してもらうなど、地域活性化への貢献についての提案があり、評価できる。

利用者の通所や退所の時間に、職員が地域パトロールを実施し、地域の障害者理解を深めるとともに、誰もが暮らしやすい地域づくりに貢献する提案があり、評価できる。

指定管理者（社会福祉法人同愛会）選定の審査結果  
（練馬区立大泉福祉作業所および練馬区立大泉つつじ荘）

	評価項目	評価基準	配点	得点
団 体 審 査	1 安定性・継続性	補助金、委託費のみに頼らない自主的運営努力の有無 事業効率の状況 資金力の有無 借入金の返済能力の有無 経営の安全性	5点	4点
	2 当該施設の 運営実績	当該施設の状況および施設での取組内容・取組の成果 利用者等への対応	15点	12点
提 案 審 査	3 施設運営体制	施設の設置目的・現状を踏まえた管理・運営の基本的な考 え方 現在のサービス水準の維持および向上のための提案内容 利用者ニーズの把握とニーズを反映させるための取組 職員に対する教育、研修体制	50点	40点
	4 運営経験を 生かした取組	当該施設の指定管理者として培ったノウハウを生かした 今後の取組	40点	32点
	5 施設の維持 管理・安全性 への配慮	日常的な点検体制 災害その他緊急時の危機管理体制 管理上の不具合や問題の区への報告体制	20点	16点
	6 効率的な 管理運営	効率的な人員配置 再委託の範囲の妥当性 事業計画と収支計画の妥当性 その他効率的・効果的な施設運営に係る提案 提案金額の妥当性	20点	16点
	7 施設特性に 応じた提案	障害特性に応じた利用者支援の取組 重度化、高齢化に対応した利用者支援の取組 障害のある方が、地域で暮らし続けるための取組	20点	16点
8 地域への 貢献	区民雇用の促進（非常勤・臨時職員を含む。） 再委託における区内事業者の活用・物品の区内事業者から の調達 地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携の推進	30点	24点	
合 計			200点	160点